

広報あがけ 11

No.370

■発行/赤池町役場〒822-11福岡県田川郡赤池町大字赤池1146番地の1☎0947(28)2004 ■編集/総務課

★町の人口★10,290人(-26)男4,840人(-18)女5,450人(-8)世帯合計3,620(+26)平成5年9月30日現在()は前年同月との比較です



こんにちは ポン太とポン吉です

夕食の準備をする頃やってくるポン太とポン吉。この日も定刻に出現です。「家族の一員です」と娘さん。可愛がっています。だれですか「タヌキ汁にしよう」なんて思っている人は……。出現場所は秘密です。

視点

NHKテレビの番組「平成世の中研究所」の「町も倒産するのか」の中で再建団体の赤池町が紹介された。この番組を見てみじめな思いをした人が多かったに違いない。周辺の市町村からも残念でならないとの声が届いている▼こどもたちの中にも自分が赤池町に住んでいることを恥ずかしく思ったそうである。遠くふるさとの町が暗いイメージで紹介されたことにひどく落胆した人は多かったに違いない。▼童謡まつりが始まった。町民文化祭、ふるさとフェア、文化講演会、こどもの歌コンクール、町民手づくりミュージカルと盛だくさん。地区公民館連合会が動く。文化連盟が動く。子育てが動く。商工会が動く。役場職員が動く。社会福祉協議会、福祉会、学校が動く。農協が老人会が動く。みんなが動く。童謡のまちづくりに向かって動く▼なぜこのガンバリが伝えられなかったかと惜しむ声が上がっている。今年に町制施行五十五周年の記念の年、十一月三日、上野村、市場村、赤池村が一つになって五十五才になる。もし五十年前、合併がなければ今時、どんな赤池町になっているのだろうか。今月十四日から四〇〇年の歴史をもつ上野焼が「遠州ゆかりの諸窯展」を催す。

特別会計の決算です。		●住宅新築資金等貸付事業	
町には一般会計と5つの特別会計があります。特別会計は、特定の目的のために事業を行なうことです。これらの会計は、みなさんの払われる保険税や使用料、返還金をはじめ、国の補助金や、一般会計からの繰入金によって運営され、私たちの暮らしに役立っています。		収入 3億 322万円	支出 4億 693万円
●国民健康保険特別会計		●老人保健事業	
収入 7億 510万円	支出 7億 1,186万円	収入 8億 9,726万円	支出 8億 9,926万円
●上水道事業		●町立病院	
収入 2億 1,288万円	支出 2億 60万円	収入 10億 1,778万円	支出 8億 1,005万円



九州の陶芸
上野焼と
遠州ゆかりの諸窯展

町制施行55周年の記念事業として「上野焼」と赤池町を広くアピールし、まちづくりの一環として実施されます。

展示会
●いつ 11月14日～19日 10時～16時
●どこで NHK福岡放送センター 福岡市
●内容 遠州ゆかりの七窯を展示

講演会
●いつ 11月14日 14時～
●どこで NHK福岡放送センター 福岡市

陶器まつり
●いつ 11月20日・21日 10時～
●どこで 上野焼各窯元 全商品2割引

「高齢者が幸せに暮らせる町づくりをめざして」
～人が人として尊重され、明るく元気に支えて生きる町づくり～
第7回赤池町住民福祉講座・NHK福祉フォーラム
とき/平成5年11月20日(土)・21日(日) 午前10時～午後3時30分(21日は午後4時まで)
ところ/赤池町同和対策中央研修所大ホール

11月20日(土)	11月21日(日)
10:00/開講式 10:45/講演 テーマ「幸せの見える町づくり」-男の自立女の自立- 講師・齊藤幸代氏 ■プロフィール 昭和19年福岡生まれ 西南学院大学大学院法科卒業 同大学院商科卒業 シルバーライフ研究所所長 香蘭女子短期大学非常勤講師 日本老年社会学会会員 生理人類学会会員 日本ファイナンシャルプランナー会会員 福岡市老人保健福祉計画策定委員 福岡県長寿懇話会委員 婦人の地位向上委員会副会長 税理士	10:30/講演 テーマ「高齢化社会をともに生きる」 講師・生熊雅夫 アナウンサー (NHK北九州放送局) ■プロフィール 昭和20年11月11日、東京生まれ 昭和45年NHK入局、平成4年より北九州勤務 現在、イブニングネットワーク北九州キャスター、 HOT30もうすぐおひる編集責任者
13:00/イベント ハンドベル演奏会 演奏/折尾女子学園 ハンドベルクワイヤ 14:00/講演 講師・福井敏生氏 ■プロフィール 大正10年生まれ 徳島県出身。 地方気象台勤務 昭和64年12月(財)日本気象協会を退職 現在、各局テレビ、テレビにて活躍中。	12:30/イベント 高千穂夜神楽 宮崎県高千穂夜神楽保存会 14:00/福祉フォーラム テーマ「高齢者が安心して住む町づくり」 -すべての人が人として尊重され、明るく元気に支えて生きる町づくり- 司会・保田井進氏 ■プロフィール 昭和9年東京都生まれ 同志社大学文学部社会学科卒業 福岡県立大学教授兼社会学科長 パネラー・高齢者をよく知る女性の会 筑前焼づくりの会 代表 富安兆子氏 代表 林明氏 穂波町社会福祉協議会 赤池町福祉健康課 福祉活動員 井上英晴氏 課長 中原和義氏

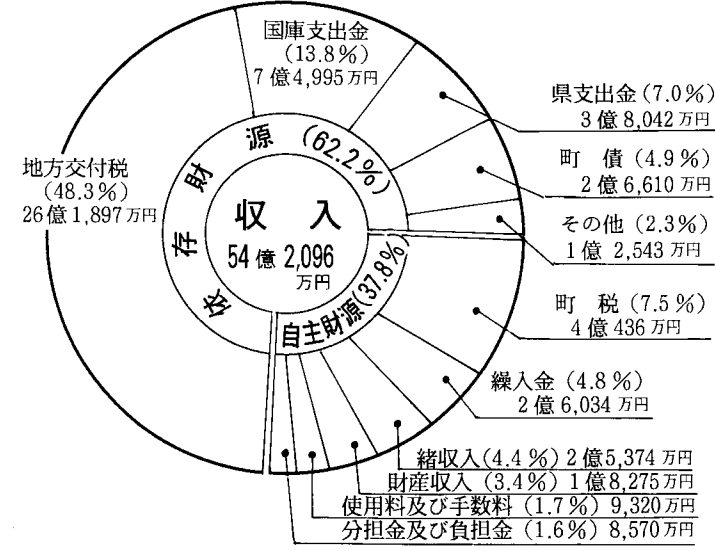
- 食事代/300円(2日間とおし)、湯茶は主催者で準備します。
- 対象者/どなたでも参加できます。(ただし、小学生以下は除きます。)
- 申し込み方法/電話または申し込み票にご記入のうえお申し込み下さい。
- 申し込み先/赤池町役場福祉健康課 (TEL 28-2004)
赤池町社会福祉協議会 (TEL 28-4646)
- 締め切り/11月17日(水)必着

着実に進む財政再建

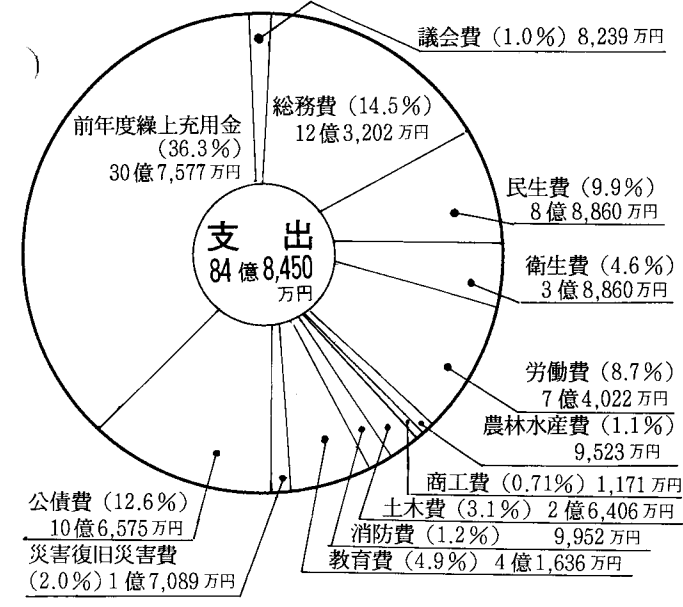
決算

平成4年度の一般会計

△△収入
平成四年度の一般会計の収入総額は、五十四億二千九十八万円で、昨年と比べると約四千四百万円増えています。これは、土地の売却や地方交付税が伸びたのがおもな理由です。



30億6,354万円の赤字でした

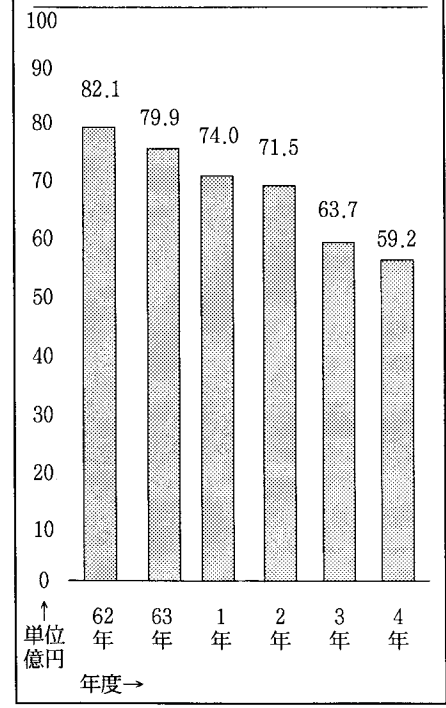


△△支出
平成四年度の決算が9月議会で認定されました。財政再建計画に基づく限られた財源で上手にやりくりしています。町が行う事業は、私たちが納めた税金や、国・県からの補助金などでまかなわれています。決算はこのお金が私たちの暮らしや町づくりに、どのように生かされたかをまとめたものです。理由です。

一般会計の財源は、町税のように町で確保できる自主財源と、地方交付税や国庫支出金のように国や県に頼った依存財源に分けられます。この自主財源が多い程、まちの財政は豊かであるといえます。

つまり、町が独自で多くの収入が得られれば、多くの事業に取り組みることができます。この自主財源は全体の三十七・八パーセントでしかなく、国や県に頼った状況が続いています。これは私たちが納めた町

借入金(起債)現在高の推移



民税や固定資産税などで前年度に比べると八・一パーセントの伸びでした。町民一人当たり三万九千二百七十四円納めたことになりました。

一方、地方交付税や国・県支出金などの依存財源は四十一億四千八百七十四万六千二百二十一円を占めています。地方交付税は前年度に比べ三・六パーセント、約九千二百二十万円の伸びでした。財産収入では、桜ニュータウンの分譲により、約一億二千五百万円の収入がありました。

△△支出
一般会計の支出総額は、八十四億八千四百五十万円です。前年度に比べると約三億三千三百万円増えています。支出の中で一番大きいのは、前年度(平成三年度)の赤字額を支払う前年度繰上充用金で、三億七千五百七十七万円です。全体の三十六・三パーセントを占めています。

他には、桜ニュータウンの分譲予定地などを整備するため、総合住宅団地整備基金として、一億二千六百万円積立しています。

昨年度(平成三年度)再建準備団体の際、土地開発公社の用地を買収した約二十二億円が大きく、その土地の売却などが求められています。

再建をはかる上で、借入金の返済を早く行なわなければなりません。公債費(借入金)の支出は十億六千五百七十五万円です。そのうち利子が約三億七千万円となり、早く返すことで利子の支払いを抑えます。そのために、減債基金として総務費で積立しています。なお、借入金の現在高の推移は図のとおりです。

財政再建計画に基づく限られた財源の中で、やりくりしています。一年でも早く、財政再建準備団体からの脱却をめざしています。